

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 宮津市立宮津中学校 】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	全校生徒 235名 教職員 27名 合計 262名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育 道徳)
4 目標 (ねらい)	オリンピックの生き方から、挑戦する心と夢を果たすために必要なことについて考えさせる。また、今回の事業を通して新たな目標設定や、今後の生活や部活動に対して元気や勇気が与えられる機会とする。
5 取組内容	<p>(1) 事前学習</p> <p>①オリンピック・パラリンピック教育について 令和3年12月1日(水)実施 ア 新型コロナウイルスによるオリンピック史上初の延期 イ 東京オリンピック2021年7月開催</p> <p>②オリンピックの歴史を学ぼう 開催国の振り返り</p> <p>③本校のオリパラ教育の継続した取組と今年のオリパラ教育 ア 講師でお世話になった方々の振り返り イ 今年の講師の紹介 ウ 事前質問を考えよう</p> <p>(2) 講演会・実技講習会 令和3年12月7日(火) 5・6校時 場所：本校体育館 講師：東京2020オリンピック 空手(組手) 銅メダリスト 荒賀龍太郎 選手 パネルディスカッション形式で講演会を行った。近隣の高等学校在籍のウエイトリフティングで活躍している生徒、本校生徒1名の計3名で実施。</p> <p>① 第1部 荒賀選手より、1年延期になった東京オリンピックに対するの努力や苦勞されたことについて話を聞き、メダルの披露もしていただいた。</p>



② 第2部

3人によるパネルディスカッションを行った。

(以下質問内容等)

○テーマ「夢（目標）に向かって進んで行くために大切にしていること」

ア 現在の夢は何ですか。

イ 目標達成にはメンタルが必要だと思いますが、心が折れそうになった時はどのように乗り越えていますか。

ウ どうすれば努力を続けることができますか。

エ 中学校の時にしておけば良かったことはありますか。

オ 夢（目標）を達成するために一番大切なものは何ですか。



③ 第3部

実技講習会を実施。全校で蹴り、突きの実技指導を受け、実際に生徒と荒賀選手と向き合い、蹴り、突きの速さを体験した。



6 主な成果

(1) 事前学習について

- ① オリンピックの歴史に触れることで、生徒の関心を高めることができた。
- ② 本校のオリパラ教育の流れと、今年度の事業について学ぶことで、オリパラへの興味・関心を高められた。

(2) 講演会・実技講習会について

- ① 生徒はオリンピックとの出会いにより、目を輝かせて講演を聴くことができた。
 - ア 自分の行っている競技を好きであり続けること
 - イ 人間性を育むこと
 - ウ 自己分析すること
- ② 実技講習会では、体の使い方を学ぶなど、空手競技を体験することができた。また、オリンピックの高度な技術を見て、大きな感動を得た。

7 実践において工夫した点
(事業の特色)

- 本校の今までのオリパラ教育を学ぶことにより、国際大会に親しみを感じさせることができた。
- 今年度は東京オリンピックが開催され、京都ゆかりの選手で、メダリストを講師として招く計画を立てた。

8 主な課題等	<p>○全校生徒を体育館に集めて実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対策を行ったが万全かどうかは答えがなく、注意を払う必要があった。</p> <p>○講師がメダリストであり、メディア対応に対して十分な配慮を要した。事前に先方との綿密な打合せが必要だった。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>事業ができるなら、実施したいと思うが、本校独自で実施すると、講師料等の検討が必要である。</p>